

尚絅子育て研究センター

児やらい

koyarai vol.15 2018

Child-rearing to generate mutual recognition
Child Studies Center at Shokei

第15巻 2018年



は じ め に

ひとつひとつの成長が嬉しくて 愛の意味なんてわからずに生きてきた
我が子に学ぶ親のありがたみ 気づけば守られてた愛ばかり
My Baby 添う ママ笑ってるよ 十月十日焦らずゆっくり 育ってくれた
My baby's song la la 聴こえるかい？
ジイジイバァバも なんやかんやで 太郎のことばかりです。
今日も遊び疲れて スヤスヤとイビキかいてる
夢の中でも大好きな音楽で踊ってるのかな？
教えてるようで教わってる 愛してるようで愛されてる
(ベリーグッドマン「My Baby」『spring spring spring』より)

この歌詞は、ベリーグッドマンという若手グループが作詞・作曲したものです。1990年代以降、児童虐待が社会問題化し、子育て世代に対しては「育児能力の低下」という厳しい言葉も投げかけられてきました。あれから四半世紀が経ちました。子育て文化を継承する機会に恵まれていない子育て世代の親たちですが、子を想う気持ちに今も昔も変わりはありません。

そして、上記の一節にあるように、子育てを通して「我が子に学ぶ親のありがたみ 気づけば守られてた愛ばかり」ということに気づき、実は親自身が「教えているようで教わっている 愛してるようで愛されてる」ということを感じとって、子どもに学び、子どもと共に生きていくことを喜びとしているのです。しかし、この喜びは、親のみの子育ての中で感じることは難しく、周りの様々な人々との関わりや対話の中でこそ共有できるものではないでしょうか。だからこそ、喜びを分かち合える他者の存在が必要なのです。その一人が保育者でもあるのです。

今回の『児やらい』15巻では、そのような保育者養成に携わる研究者を中心に多角的な視点をもった研究論文が掲載されています。また、保育現場の実践報告や公開シンポジウムの講演記録などは、明日への保育に大きな示唆を与えてくれるものとして、読者の皆様にぜひ一読していただきたいものばかりです。今回は、総頁数214頁という読み応えのある本書となりました。この一冊が、親子の成長の喜びにつながることを願い、ここに無事、発刊できましたことを心より感謝いたします。

平成30年3月吉日

尚綱子育て研究センター・センター長

増淵 千保美

目 次

はじめに

I 論文

- 1 「健康」領域の変遷に関する考察 3
佐藤 亮平
- 2 保育者養成校の学生における保育者効力感の構造の検討 14
栗川 直子
- 3 言葉遊びについて 25
- 幼稚園教育要領 領域「言葉」との関連から - 安村 由希子
- 4 学校安全の現代的課題と教育実践に関する一考察 36
- 学校における防災教育の展開に着目して - 水谷 智彦
- 5 学習と記憶方略に関する基礎的研究 47
- 記憶学習における文章構成効果 - 田中 將之
- 6 保育者養成校における「人間関係の指導法」に関する一考察 58
小川内 哲生
- 7 近世ヨーロッパにおける幼児教育思想の展開 69
- 17世紀イングランドのゲージ、ウッドワード、そしてコメニウス - 柴田 賢一
- 8 保育施設における幼児の運動能力 80
- 全国的規模における検査結果との対比 - 柿原 一貴
- 9 人と関わる力を育む保育 91
- 道徳性や規範意識の芽生えと保育者の役割 - 片桐 真弓
- 10 保育における指導観の転換に関する一考察 102
~ 応答的な保育方法を目指して ~ 二子石 諒太

II 研究ノート

- 1 「総合的な学習の時間」を活用したキャリア教育 115
- 進路意識の発揚を目的としたショートエクササイズの実践 - 田中 將之

III 実践報告

- 1 一人ひとりを大切に作る保育 123
~ 排泄・食事での取り組みから ~
はつの・あそびの森こども園：岩坪 絵里
- 2 小規模保育の特性を活かした保護者支援を考える 128
小さな森の保育園：知識 伸哉
- 3 手をつなぎ、支え合う保育をめざして 132
熊本市立菱形保育園：平山 律子

IV 公開シンポジウム講演録

- 1 大切にしたい乳児の育ち 139
~ 愛着形成と自我の芽生えを育む ~
子どもとことば研究会代表 今井 和子
- 2 深めよう0・1・2歳児の保育 158
子どもとことば研究会代表 今井 和子